

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
 TEL: 03-3259-3111(代表)
 www.ms-ins.com

2016年9月29日

～企業の安全運転取組をトータル支援～

安全運転支援サービス「スマNavi」の対象範囲を拡大

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、10月から、企業の安全運転取組を支援するサービス「スマNavi※」の対象範囲を拡大するとともに、ビーコンを活用した「ノータッチ診断」を開始します。

従来の「スマNavi」では、スマートフォンの運転力診断アプリを使用した安全運転取組の「導入段階」の企業を対象としていましたが、ビーコン組込型のクレイドルを使用した「発展段階」、固定型のドライブレコーダー（以下、ドラレコ）を使用した「本格展開」の企業まで範囲を拡大することとしました。また、ビーコンを組み込んだオリジナルクレイドルの無料貸出を開始し、スマートフォンによるドラレコ機能の活用を促進します。

これにより、企業がテレマティクス技術を活用した安全運転取組を始める機会を創出するとともに、損害保険会社のノウハウを活かした安全運転取組を幅広く提供することで、自動車事故の防止に貢献していきます。

※企業のお客さまにテレマティクス技術を活用した安全運転取組サービスを提供し、その結果に応じて自動車保険のフリート契約の次回保険料を最大6%割引く商品・サービスです。

1. 全体概要

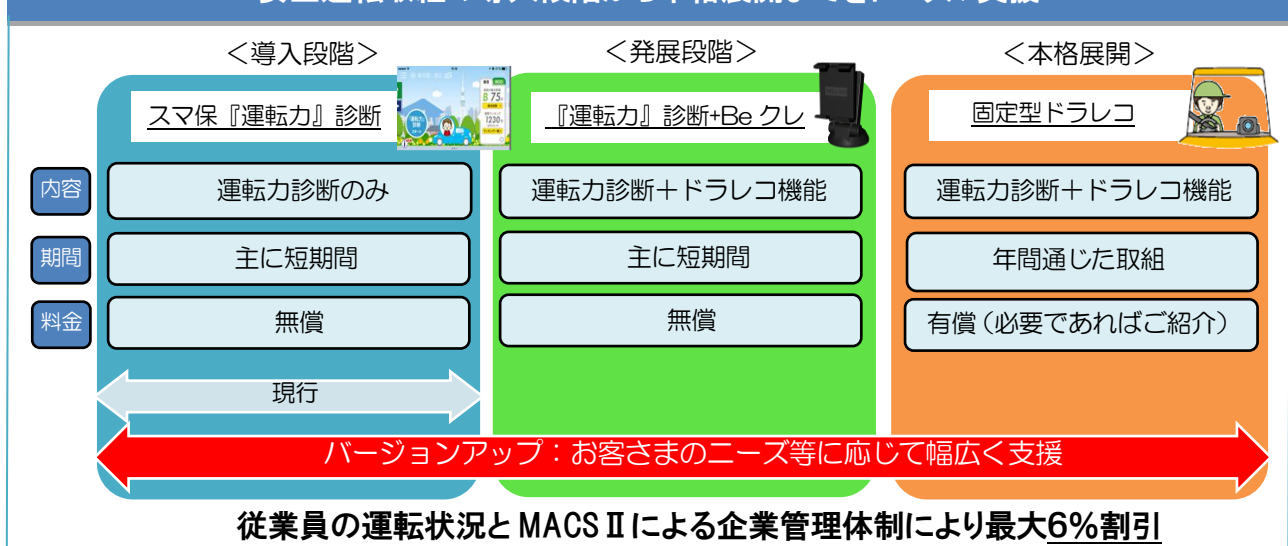
安全運転取組の「導入段階」にある企業に加えて、ビーコン組込型のクレイドル（名称：『Beクレ』）を使用した「発展段階」、固定型ドラレコを使用して通年取組を進める「本格展開」の企業も「スマNavi」を利用いただけるようになりました。

- 「発展段階」の企業向けには、10月から『Beクレ』の無料貸出を開始し、スマートフォンによるドラレコ機能の活用促進と従業員の診断漏れ防止を図ります。
- 「本格展開」の企業向けには、運転動画を活用したセミナー開催等のサービスを提供します。

（ご参考）ビーコンについて

Bluetooth機能をオンにしているスマホの位置を特定する発信機のごことで、信号を数秒に1回、半径数メートル範囲に発信します。その技術を応用し、ビーコンから発信される電波の受信有無によって、自動でアプリを起動・終了することができます。

安全運転取組の導入段階から本格展開までをトータル支援



2. 段階別サービスの詳細

(1) 発展段階：『Beクレ』を活用した安全運転取組

『Beクレ』はビーコンを組込んだ当社オリジナルのクレイドルです。10月から、1企業に最大50個、2か月間を限度に無料貸出を開始します。

クレイドルでスマートフォンが固定されるため、ドラレコ機能等を有効活用できます。また、ビーコンの発する電波により、車の乗降時にアプリが自動で起動・診断・データ送信まで行う「ノータッチ診断」が可能なことから、診断漏れの防止にも役立ちます。

「Beクレ」の主な特徴

特長①：ノータッチ診断による診断漏れ防止と事故時のサポート

「ノータッチ診断」による診断漏れ防止機能のほか、ワンタッチでドラレコ機能を活用できる機能（『Beクレ』にスマホを設置すると、ドラレコ機能に関するメッセージが自動表示）を搭載しています。



裏側で常時アプリが起動しているため、強い衝撃を感知した時は「緊急時ナビ」が起動し、事故時の速やかな対応をサポートします。

特長②：教育動画作成サービスを活用した研修実施が可能

ドラレコ機能では、従業員による危険運転の箇所が前後15秒間にわたり録画されます。企業の安全運転管理者は、専用ホームページ上で従業員の危険運転を確認できるだけでなく、研修等で使用したい動画を選択するだけで、簡単に教育動画を作成することができます。

(2) 本格展開：固定型ドラレコを活用した通年型の安全運転取組

既に固定型ドラレコを導入されている企業等、お客さまのニーズやお手持ちの機器等に応じた支援を行います。ドラレコの設置そのものの効果は一時的であり、効果を維持するためには、安全運転教育としての活用が不可欠です。「スマNavi」では、企業の安全運転管理体制に関する簡易レポートを提供するほか、以下の支援メニューを通じて安全運転取組を支援します。

<事故防止メニューの例>

サービス	内容
自動車リスクマネジメント診断 (MACS II)	企業の安全運転管理体制に関する簡易レポートを提供
管理者向け・運転者向けセミナーの開催	提供いただいた走行データ等を踏まえたセミナーの開催
指導教育ツールの提供 (有償)	ドラレコに記録された映像を活用した教育ツールを提供

※「スマNavi」の利用は所定の基準を満たした企業に限ります。

- ①ドラレコによる走行データ（急加速回数、走行距離等）を電子ファイルで当社に提供
- ②ドラレコを全車両の50%以上に設置
- ③MACS II（企業自動車リスクマネジメント診断）の実施

以上